

# No.4 身近な生物の不思議

## カリキュラム

講師：<sup>あさば ひろし</sup>浅羽 宏

第1 水曜日 14:00~16:00

回	月 日	講 座 内 容
1	4月2日	<u>オリエンテーション・葉の褐変</u> 講座全体の内容を説明し、準備するものを確認する。第1回目は植物を材料とし、葉などの褐変現象を取り扱う。葉で簡単な実験を行い、家庭でも一歩進んで出来るようにする。
2	5月7日	<u>植物の貯蔵デンプンと蒸散</u> 小学校の実験から、種子の栄養分とその利用、葉での蒸散作用を再考する。ルゴール液で種子のデンプン検出反応を行う。植物の種類と部位による気孔の形の面白さについて話す。
3	6月4日	<u>葉脈標本の作製</u> 樹木の葉を加熱処理したものを皿に入れ、歯ブラシで叩いて組織を壊し葉脈を取り出し、乾燥して標本とする。その後の標本作成方法についても説明。 (準備は歯ブラシ、陶器やガラスの皿など)
4	7月2日	<u>ニワトリ手羽先の骨を観察する</u> 手羽先から大まかに肉や脂肪を除去し乾燥したものを観察し、人の前腕と比較して共通点や相違を考える。以降の骨格標本作成は、各自家庭で実施できるように方法を説明。 (準備はキッチンペーパー、持ち帰り用の紙箱又はプラスチックケース 15×8×4 cm程度)
5	8月6日	<u>豚の指の骨を観察する</u> 豚足から大まかに肉や脂肪を除去し、1本の指を乾燥したものを観察する。他の哺乳類の手足と比較して共通点や相違点を考える。以降の骨格標本作成は、家庭で実施できるように方法を話す。 (準備はキッチンペーパー、持ち帰り用の紙箱又はプラスチックケース 15×8×4 cm程度)
6	9月3日	<u>標本の発表・ネコの骨と毛色</u> 3から5の講座後、自宅で完成した標本を持ち寄り、お互いに感想や意見を述べて相互のコミュニケーションを深める。後半は、ネコの骨組みと毛色の遺伝について写真を用いて述べる。

教材費：全6回で300円(にわとり手羽先、豚足の半分、チャック付きビニール袋、透明シート、ラミネート用紙、ゴミ用袋など。※実験用の手羽先、豚足や葉は講師が準備します。)

初回に持参する物：筆記用具、ノート

- 不明な点は、TAMA 市民塾までお問い合わせください